

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	特別活動
科目基礎情報						
科目番号	1A15		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	必要に応じて参考資料を配布する。					
担当教員	野々山 和宏					
到達目標						
生活の基本集団であるクラスでの活動を通じ、学生生活や社会において守るべきルールの理解と遵守、自分自身と他者をともに尊重する態度の育成、基本的な生活習慣の確立を図り、また、自己の目標を設定させ、高専生としての基礎を確立することを目標とする。 提出物、その他（ホームルーム時の活動の様子、ルールの遵守状況等）により評価する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
学生生活や社会において守るべきルールを理解し、守ることができる。	ルールを守り他者の模範となる行動ができる。		ルールを守ることができる。		常にルールを守れない。	
自分自身と他者をともに尊重し、クラスの一員として行動できる。	他者に配慮しつつ、クラス運営に関われる。		自己の意見をのべ、クラス運営に協力できる。		クラス運営に協力できない。	
自己を認識し、将来を考えることができる。	現時点での将来の目標を設定できる。		将来の夢を考えることができる。		自己について考えようとしない。	
学科の到達目標項目との関係						
教養 B1 教養 B2 教養 C3 教養 D1 教養 D2						
教育方法等						
概要	・生活指導、目標設定を実施し、定期的に確認指導を行う。 ・教室を毎日キレイに維持する。 ・クラスとしての課題にチームワークよく取り組む。					
授業の進め方・方法	座学の講義を基本とし、運動やグループワークを行う。外部講師による講演会を聞くこともある。					
注意点	ルールを理解、遵守とありますが、普通に生活していれば何も考えずとも守れる程度のもので、その普通を改めて確認し、みんなが気持ちよく生活できるようにしようということです。 他学科と合同で講演会などを実施することがあります。					
実務経験のある教員による授業科目						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	学生生活の流れを知る。		
		2週	試験と成績に関する規則	成績関連の規則を説明できる。		
		3週	情報モラルについて	事例を知り、規則を説明できる。		
		4週	入学1か月を振り返って	生活習慣を振り返ることができる。		
		5週	体育大会の出場種目の決定	協力して種目を決定できる。		
		6週	前期中間試験の目標と学習計画の作成	目標を設定できる。		
		7週	校内体育大会	協力して活動できる。		
		8週	成績確認			
	2ndQ	9週	前期中間試験の反省と今後の課題の把握	課題を把握し、改善策を考えられる。		
		10週	合同HR（各種講演会）	講演内容を生活に反映できる。		
		11週	将来の自分を考える 1	将来の夢を考えることができる。		
		12週	ニュース・新聞の読み比べ	視点や主張の違いを感じとれる。		
		13週	前期期末試験の目標設定と学習計画の作成	目標を設定し、計画を策定できる。		
		14週	前期期末試験対策	試験対策を実行できる。		
		15週	青少年健全育成に関する条令について	夏休みの生活を律することができる。		
		16週	成績確認			
後期	3rdQ	1週	前期期末試験の反省と今後の課題の把握	課題を把握し、改善策を考えられる。		
		2週	ストレスとの付き合い方	効果的な付き合い方を説明できる。		
		3週	入学半年を振り返って	自己の生活を振り返ることができる。		
		4週	自分の将来を考える 2	人生プランを記述できる。		
		5週	商船祭に向けて	協力して参加イベントを決定できる。		
		6週	後期中間試験の目標設定	目標を設定し、計画を策定できる。		
		7週	後期中間試験の対策	試験対策を実行できる。		
		8週	成績確認			
	4thQ	9週	後期中間試験の反省と今後の課題の把握	実行可能な改善策を考えられる。		
		10週	青少年健全育成に関する条令について	冬休みの生活を律することができる。		
		11週	新年の抱負	今年の目標を設定できる。		
		12週	成績の把握と進級制度の確認	現状を把握できる。		

		13週	後期期末試験の目標設定	目標を設定し、計画を策定できる。
		14週	後期期末試験対策	試験対策を実行できる。
		15週	自分の将来を考える 3	人生プランを見直せる。
		16週	成績確認	

評価割合

	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果物実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	40	0	0	0	60	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	0	0	0	0
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	0	0	0
主体的・継続的な学習意欲	0	0	40	0	0	0	0	40
チームワーク力	0	0	0	0	0	0	30	30
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	30	30